

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

年頭挨拶

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会
会長 津田 聡一郎



新年明けましておめでとうございます。

会員ならびに賛助会員の皆様におかれましては、穏やかな2017年の新春をお迎えになられましたでしょうか？

旧年中は当会の活動に対しまして、格別のご指導、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。

振り返りまして昨年前半は、兎にも角にも日臨技・宮島会長の国政への挑戦があり、連盟の立場でとは言え、臨床検査技師の仲間を国会の場へと押し出すことがどれだけ大変なことか思い知った半年でした。昨年後半には、10月には深谷健康まつり、わらび健康まつりへの参画、11月には検査と健康展を浦和コルソにて実施され、12月には大宮ソニックでの県学会が1350名を超える参加者を集めて盛大に催されました。会場に入り切れずに廊下に溢れてしまい、一部の方にはご不便をお掛けし失礼いたしました。

さらに、年度内に検査室管理運営研修会「認知症とは」が2月、検査の説明相談講習会が3月に計画されていますので、是非ともご参加いただきたく思います。

ところで皆さまは、検体採取講習会を修了されましたか？ この講習会を修了することで、皮膚病変、肛門、鼻腔からの検体採取と味覚・嗅覚の検査の実施が認められるようになります。免許証の範囲が広がることとなります。この指定講習会は開始後5年経つと開催回数も減ってしまうことになっています。是非早めに修了されるようにお勧めします。

さて、今年の秋には、第54回関甲信・首都圏 合同支部学会が埼玉県の担当で10月28、29日にラフレさいたまを会場に開かれます。現在、若いスタッフにも参加してもらって鋭意準備中です。応援と御期待をお寄せいただければ幸いです。

昨年は、申年で「キャッキヤ」と楽しい一年を、とっておりましたが、「キヤーッ、キヤーッ」とビックリすることの連続だったような気がします。今年こそは酉年で、「ケッコー」な一年にしたいものです。

本年も役員一同、全力で会務・事業に取り組んでまいります。会員、賛助会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第45回埼玉県医学検査学会を終えて

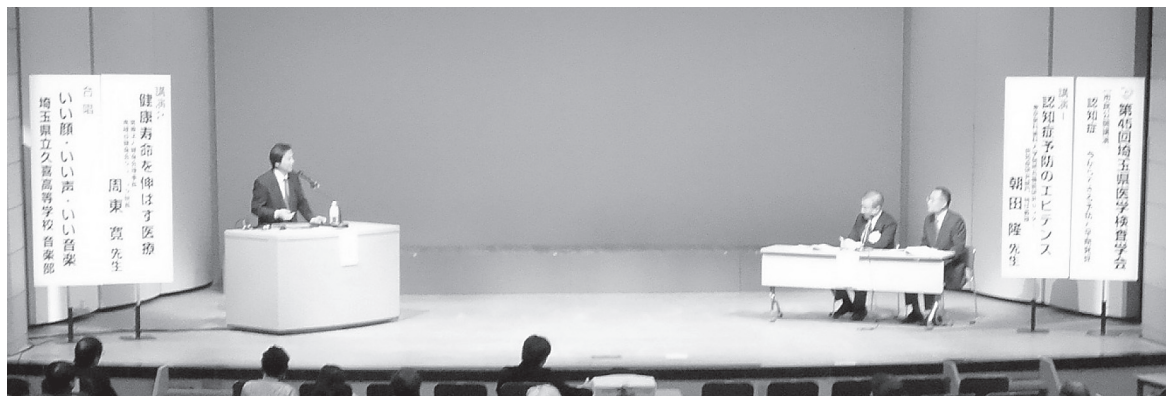
第45回埼玉県医学検査学会
学会長 並 木 薫

2016年12月4日(日) 大宮ソニックシティ市民ホール・小ホール・6階・9階の11会場にて、第45回埼玉県医学検査学会を開催いたしました。市民参加者171名を含め総参加者数1,358名と大変多くの参加をいただき誠に有難うございました。

手探りで始めた本学会でしたが、テーマを考えるにあたり、現在日臨技が取り組んでいる臨床検査技師の業務認証(業務拡大)、病棟検査業務推進などに注目しました。その日臨技事業の成果のひとつである検体採取ですが、まだ日常業務化しているとは言い難い現状です。このようなことから今後、私達は新たな課題に直面することが予想されました。

そこで本学会では、これら新たな課題を克服する目的をこめ、『挑戦』—未来の私達のために—をテーマに掲げ、学会企画に挑戦シリーズと称し、「広げよう検査技師の可能性」「Let's検体採取! 新たな領域へ!!」「いざ! 病棟採血」「ディズニーから学ぶ患者接遇」「神山が教える統計学」を企画しました。実践的な研究班企画と違い、将来を見据えた企画のため集客に不安もありましたが、立ち見の企画もあり、講演を行ってくださった講師の方々、興味を持ち参加してくださった会員の皆様に感謝申し上げます。

市民公開講演では、高齢化社会の問題のひとつである認知症予防を取りあげ、「認知症予防のエビデンス」「健康寿命を伸ばす医療」の2つの講演と、埼玉県立久喜高等学校音楽部による「いい顔・いい声・いい音楽」をテーマとした合唱を行いました。日本は長寿大国ではありますが、その生きている間健康かというところではありません。認知症予防は健康寿命を延ばすためにも重要で、今後、私達がいい年をとり続けるために不可欠と感じました。最後にクリスマスも近いことから、「きよしこの夜」を会場全員で合唱し、とても癒された会となりました。



市民公開講演と並行して行われた学会企画、「Quiz当直業務に『挑戦』一人じゃ心配…そんなあなたの“力”になります!!」では、昨年に引き続きスマートクリックを用いたクイズ形式で、5研究班から出題を行っていただきました。問題は学生レベルから、実際に当直を行っている方々を考えさせるレベルまで、難易度にも工夫をいたしました。

技師向けの体験コーナーでは、新たな検査業務としての、味覚・嗅覚検査と認知症検査などを行いました。多くの方々に興味を持っていただきありがたく思います。

「最初から最後まで1日いて有意義な学会」を作ろうと実行委員皆で企画しました。満足いただけただけでしょうか？今回の実行委員メンバーの約半数は学会活動が初めての者でした。しかし、毎月行われる実行委員会を重ねるごとに成長し、学会当日には自信をもって責務・運営を行ってまいりました。この若い力が、今後の技師会を背負って発展させて行くものと確信しております。

末筆にはなりませんが、学会を開催するにあたり、技師会理事・各研究班・技師会事務員・当日実務委員の皆様には大変お世話になり、心から感謝申し上げます。私自身、埼玉県済生会栗橋病院を退職し、現在は茨城県に住んでおりますが、埼玉県臨床検査技師会に所属し、埼玉県学会で学会長を務めさせていただいたことを、嬉しく思うと同時に誇りに感じております。皆さま、本当に有難うございました。



平成28年度 第2回 検査室運営研修会のお知らせ

認知症について、理解を深めよう!!

生理検査・採血など、認知症患者の対応で困ったことはありませんか？

～ 臨床検査技師のための認知症対応力養成講座 ～

2015年の厚生労働省研究班の全国調査では、急性期病院での認知症患者への支援体制が全国的に遅れているという結果でした。私たちも、認知症によるものと思われる問題行動に遭遇すると、どう対応したらよいか不安になることがあります。

例えば、これから行う検査の説明を行い、本人も納得しているようだったのに、いざ検査という時に「何をするんだ！」と怒り出す・・・“何がいけなかったのでしょうか？”

今回の講師をお願いしている認知症看護認定看護師の鈴木先生は、「目の前の問題行動に目を奪われてはいけない。その背景にあるものに目を向けて欲しい。」と言います。

そこで、平成28年度 第2回 検査室運営研修会は、下記の研修会を企画しました。

実際の現場では突然遭遇する事象です。認知症およびその患者対応について知識・理解を深めるため、是非ともご参加ください。

逃さない事の重要性についてもお話いただき、各種選択培地を使用する事の重要性を改めて実感した。

中間氏には、本年抗酸菌検査ガイド2016が発刊され、前版からの改訂内容を中心として抗酸菌検査のポイントをご教授いただいた。まず関連法規が新規追加された事、染色検査ではLED蛍光顕微鏡が追記され、さらに蛍光法の中にアクリスチン染色が加わったことに触れられた。

また薬剤感受性検査では、これまで記載されていなかった非結核性抗酸菌が新たに登場したことは非常に印象が強かった。本国における2020年にむけてのアクションプランには、「薬剤感受性試験を含む早期診断」という文言が含まれている。検査結果の報告を早く行うためにも、新たな技術、検査法、検査機器、検査キットなどについて関心を持つ必要性を強く感じた。

(文責：森 圭介)

テーマ 輸血部門によるアルブミン製剤の一元管理を考える

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成28年11月25日 19時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：基礎教科－20点

講 演 1：血漿分画製剤について

講 師：木村 隆治（日本血液製剤機構）

講 演 2：アルブミン製剤の一元化を経て

講 師：塚原 晃（戸田中央総合病院）

宮川 勇（小川赤十字病院）

酒井 美恵（上尾中央総合病院）

参加人数：会員43名 賛助会員1名

出席した研究班班員：山田攻 渡邊一儀 神戸考裕 長谷川卓也 久保居由紀子 齋藤翔子

野呂光恵 佐藤祥子 小林真弓

研修内容・感想など

今回の研修会は、保険診療である輸血管理料取得の条件であるが、県内の実現が立ち遅れているアルブミン製剤の一元化推進を目的とした意欲的な研修会であった。木村氏の講演は血漿分画製剤について製造から使用について、医学的面のみに留まらず、社会的、歴史的な側面からも考察したものであった。日本におけるアルブミン製剤運用の現状が明らかになり、輸血部による一元化の際の目的や問題が明確となった。

アルブミン一元化を実現した3施設の講演は3施設とも運用面において同様の方向性に落ちついたことが印象的であった。自動分析装置に付随した管理システムを使用していること、独自にナンバリングしたラベルを発行してバーコード管理すること等である。またいずれの施設も情報の周知に力を入れており、それが順調な運用につながっている。

今回の講演を通じて輸血部における一元化運用についての方法や手続き等についてその骨子やポイントが明確になった。実際に一元化を運用したい施設には有益な情報を提供できたと考える。同時に今後は輸血部によるアルブミン製剤の適正使用をどのように進めていくか、重要な課題も明らかになった。

(文責：山田 攻)

平成28年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第10回 理事会議事録

日 時：平成28年12月 8 日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 島村 岡田 矢作
小山 奈良 石井 松岡 小島
濱本 藤井 長澤 神嶋 伊藤
濱田 山口 鳥山 武関

(監事)遠藤

欠 席：(理事)猪浦 長岡 阿部

(監事)細谷

本日の理事会の出席者は20名であった。理事の出席者は19名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (平成28年11月11日～平成28年12月7日)

11月11日(金)平成28年度公益社団法人第9回理事会：

津田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、石井、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、阿部、遠藤、細谷

11月12日(土)全国「検査と健康展」：

津田、神山、島村、岡田、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、石井

11月13日(日)糖尿病無料相談会：長澤、遠藤

11月15日(火)第2回検査室運営研修会事前会議：
藤井

11月17日(木)第54回関甲信・首都圏支部学会部長会議：

津田、濱本、矢作、奈良、松岡、藤井、山口

11月18日(金)第45回埼玉県医学検査学会第15回実行委員会：

猪浦、長岡、長澤、武関

11月24日(木)深谷市福祉健康まつりで協力を頂いた黒澤永医師への訪問：津田

11月25日(金)第54回関甲信・首都圏支部学会運営部会：藤井、長澤、神嶋、濱田

11月25日(金)平成28年度第2回表彰審査選考委員会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、小山

11月26日(土)日臨技学術委員会及び日臨技学術企画委員会WG委員会：神山

12月 1 日(木)第54回関甲信・首都圏支部学会HP担当部会：小山、矢作

12月 4 日(日)第45回埼玉県医学検査学会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、石井、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、鳥山、武関、遠藤

12月 4 日(日)埼玉県立小児医療センター・さいたま赤十字病院内覧会：津田

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1)第27回埼玉県大腸がん検診セミナーへの後援を回答した。

2)第8回埼玉輸血フォーラムのへ後援の回答をした。

3)平成29年埼玉県看護協会新年談話会出席について

神山副会長が出席する事とした。

日時：平成29年 1 月14日(土) 12時～

会場：ホテルブリランテ武蔵野

2階エメラルド

4)平成29年日衛協賀詞交歓会出席について

津田会長が出席する事とした。

日時：平成29年 1 月 5 日(木) 15時～

会場：アルカディア市ヶ谷 3階富士

5)11月25日、平成28年度第2回表彰審査選考委員会を開催した。

2 総務部

1)「埼臨技だより」第451号、12月15日発行予定

3 事業部

1)11月5～7日、日臨技 地域ニューリーダー育成研修会報告。

- 2) 11月12日、全国「検査と健康展」が開催された。
 - 3) 11月15日、第2回検査室運営研修会事前会議を開催した。
 - 4) 11月24日、日臨技へ全国「検査と健康展」の報告書・決算書を三役承認の下、提出した。
 - 5) 全国「検査と健康展」の後援御礼を県内の後援団体に送付した。
- 4 学 術 部**
- 1) 平成29年 2、3 月生涯教育プログラム作成
 - 2) 日臨技推進事業20回分申請終了
 - 3) 埼臨技会誌VOL63 No2 12月15日(木)発行予定
- 5 精 度 保 証 部**
- 1) 特になし。
- 6 会 計 部**
- 1) 平成28年度正会員費 9 名分45,000円、入金金 9 名分9,000円、合計54,000円の入金があった。
 - 2) 生涯教育推進研修会助成金50,000円×2 研修会、38,000円×1 研修会、合計138,000 円の入金があった。
 - 3) だより第450号代138,121円を石井印刷へ振り込んだ。
- 7 精 度 管 理 委 員 会**
- 1) 特になし。
- 8 一 都 八 県 会 長 会 議**
- 1) 特になし。
- 9 日 臨 技 関 甲 信 支 部**
- 1) 特になし。
- 10 日 臨 技**
- 1) 11月26日、日臨技学術委員会及び日臨技学術企画委員会WG委員会が開催された。
- 11 第45回埼玉県医学検査学会**
- 1) 11月18日、第15回実行委員会を開催した。
 - 2) 12月4日、第45回埼玉県医学検査学会が開催された。
- 12 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会**
- 1) 特になし。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(平成28年度分)

平成28年12月1日現在

会員数 2,754名

(新入会員244名[平成27年度会員数2,587名])

賛助会員 82社[平成27年度 79社]

承認された。

- 2) 臨床衛生検査業務功労者の厚生労働大臣表彰の推薦について

承認された。

2 総務部

- 1) 特になし。

3 事業部

- 1) 平成29年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会について

承認された。

4 学術部

- 1) 特になし。

5 精度保証部

- 1) 特になし。

6 会計部

- 1) 特になし。

7 精度管理委員会

- 1) 特になし。

8 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

- 1) 特になし。

Ⅳ. 議題

- 1) 平成29年度定時会員総会開催日程について

標記の件について、矢作事務局長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、平成29年6月9日(金)、大宮ソニックシティ906号室を予定することで、出席理事全会一致で承認した。

- 2) 緊急災害時の連絡体制等の構築について
標記の件について、津田会長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、更なる調査が必要との結論に達し、継続審議とすることとした。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

求人案内

○医療法人社団嬉泉会 春日部嬉泉病院

採用条件：正職員

連絡先：048-736-0111

人事科 射手矢 (いてや)

○独立行政法人地域医療機能推進機構

埼玉メディカルセンター

採用条件：任期付常勤職員

連絡先：048-832-4951 内線 1415

総務企画課 小林

○社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
東埼玉総合病院

採用条件：正職員

連絡先：0480-40-1311 内線：2712

管理部総務課 採用担当 梁瀬 (やなせ)

○一般社団法人 大宮医師会メディカルセンター

採用条件：非常勤職員

連絡先：048-665-6559 廣田、吉田

○学校法人恵済学園 東武医学技術専門学校

採用条件：正職員

連絡先：048-798-8123 採用担当者

○特定医療法人 俊仁会 埼玉よりい病院

採用条件：正職員

連絡先：048-579-2788 事務長 井上

○一般社団法人 巨樹の会 所沢明生病院

採用条件：正職員

連絡先：04-2928-9110 総務課 三次

○医療法人新青会 川口工業総合病院

採用条件：正職員

連絡先：048-252-4873

総務課 採用担当

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あ と が き

御 礼

12月4日(日)第45回埼玉県医学検査学会が開催され盛会裏に終えることができました。学会担当理事をさせていただくようになり早4回目となります。毎年のことですが、実行委員の皆様は、ご施設での業務を終えられ駆け足で実行委員会へ参加し、そこで話し合わせ発生した案件をお忙しい中遂行していく。メールの数も日に日に数が増していきました。その姿を見ているからこそ学会当日は毎年万感の思いで参加させていただいています。私自身のことを言えば、学会を通じて横のつながりが増え、何かの時に助け合える関係になれたことが自分の貴重な財産となっています。ただ実行委員会では、疑問、質問に即答できることが少なく運営に負担をかけてしまったことに、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

皆様から、『お疲れ様!』『いい学会だったね!』と声を掛けていただき大変うれしく思います。お世話になった皆々様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。この拙文が掲載されるだよりが皆様のところへ届くのは新年2017年。

『本年もよろしくお願いたします』

(長岡 記)

